



会 報

やまぐち

No. 65

平成9年

5月発行



回 天

昭和12年頃、旧海軍魚雷発射試験地がここ大津島に建設され、第2次大戦末期の昭和19年9月1日、回天の創案社、黒木、仁科両隊員が着任し、回天訓練基地が発足、直ちに訓練が開始された。

回天は、当時、世界最高の性能を誇った93式酸素魚雷を人間が操縦出来るよう改装したものであり、昭和19年11月8日菊水隊を第1陣として南太平洋各地に出撃、米艦隊の恐怖の的となった。この作戦に参加した若人は2,000余名にのぼり、このうち145名が回天特別攻撃隊員として南の海に散華していった。

記念館は、昭和43年、旧兵舎跡に彼らの遺徳をしのび建設され、遺品遺墨約1,500点を展示、回天発射場跡も当時のまま保存され、まぎれもない現実を今に語りかける……。

山口県土地家屋調査士会

目 次

年計表を分析して	1
平成8年度証紙貼付状況結果報告	5
臨事総会	6
本部研修会の開催	9
本部役員・支部長合同会議の開催	11
支部企画委員と本部業務部との合同会議	12
新人会員研修会	15
平成8年度末・平成9年度当初人事異動一覧表	19
「不動産表示登記」無料相談開設	23
新聞掲載記事ファイル	25
【支部だより】	27
【クラブだより】	
囲碁・釣・旅行	29
【事務所だより】	
会員異動状況・会務報告	31
編集後記	33

年計表を分析して

会長 乗川良介

平成8年度は、政府において、行政改革、規制緩和を旗印しに国家の大改造を試みられているところである。

その中であって、次々と高級官僚の不祥事が続出し、国民の怒りも頂点に達した感が致します。一方経済企画庁では、ここ数年に亘り、ゆるやかな経済の回復基調にあると言いつけられています、国民が肌で裕福さを感じるには至っていないのが実情であります。

日本経済も、今後列島改造論時代の如き、高度成長は望めないし、安定経済の中で我々の日常生活を如何にエンジョイするか、白から考え、実行する時代が来た様に思えます。

労働基準法改正に伴い、本年4月1日より、週40時間の就労となり、基本的には、週休2日制が確立されたも同様であります。日本国民は過去働きすぎと云われて来ましたが、今後は、レジャーに、スポーツに、文化にと人性にゆとりを持ちながら、物質両面から人間性を実感し21世紀を迎えたいものであります。

調査士会も、改革期に突入しています。事務処理体形も、法人化を含む、集合体（合同、共同、組合等）を真険に研究し国民のニーズに答えて行かなければなりません。21世紀は、いろんな意味からも大きく変貌すると考えられます。

報酬の改定も当分の間望めないと思われれます。運用面の研究を行い、ゆとりある職場の確立をお願い致します。

毎年申し上げています様に、報酬の計算に個人差が大きく見受けられます。地域差は多少、やむを得ないとしても、更なる体形研究と研修を重ねて参りましょう。

分析結果を次表の通り集めて見ました。参考にされ、各自の報告された年計表と合せて見て下さい。最後になりましたが今後会員の皆様方の益々の御健勝と、事務所の御発展を祈念し、報告致します。

支部別年

支部 区分	平成 8 年	前年対	平成 7 年	平成 6 年	平成 5 年
岩国 会員数	51	1.04	49	48	48
件数	5,710	0.94	6,097	6,049	5,562
金額	588,722,864	1.01	582,971,036	488,274,173	469,874,505
1人平均 件数	112	0.90	124	126	116
1人平均 金額	11,543,586	0.97	11,897,368	10,172,379	9,789,052
金/件	103,104	1.08	95,616	80,720	84,479
徳山 会員数	42	1.00	42	40	41
件数	5,218	0.95	5,518	6,094	5,783
金額	566,679,060	0.97	585,566,453	551,852,938	541,093,904
1人平均 件数	124	0.95	131	152	141
1人平均 金額	13,492,359	0.97	13,942,058	13,796,323	13,197,412
金/件	108,601	1.02	106,119	90,557	93,566
防府 会員数	19	1.00	19	21	23
件数	2,407	1.01	2,375	2,403	3,187
金額	300,468,732	1.18	255,583,751	238,975,112	258,463,171
1人平均 件数	127	1.02	125	114	139
1人平均 金額	15,814,144	1.18	13,451,776	11,379,767	11,237,529
金/件	124,831	1.16	107,614	99,449	81,099
山口 会員数	35	1.00	35	37	36
件数	4,411	1.02	4,333	5,515	4,894
金額	525,387,459	1.04	507,380,813	490,721,777	458,561,551
1人平均 件数	126	1.02	124	149	136
1人平均 金額	15,011,070	1.04	14,496,595	13,262,751	12,737,821
金/件	119,108	1.02	117,096	88,979	93,698
萩 会員数	20	1.05	19	19	19
件数	2,885	1.00	2,872	2,590	2,411
金額	313,979,822	1.54	203,376,920	228,861,386	188,497,746
1人平均 件数	144	0.95	151	136	127
1人平均 金額	15,698,991	1.47	10,704,048	12,045,336	9,920,934
金/件	108,832	1.54	70,814	88,363	78,182
宇部 会員数	44	0.98	45	45	44
件数	6,176	0.91	6,771	6,731	7,194
金額	573,927,063	0.86	670,396,117	637,774,659	547,915,814
1人平均 件数	140	0.93	150	150	164
1人平均 金額	13,043,797	0.88	14,897,691	14,172,770	12,452,632
金/件	92,929	0.94	99,010	94,752	76,163
下関 会員数	49	1.02	48	49	48
件数	5,749	0.89	6,434	6,543	7,311
金額	680,911,981	1.09	622,029,682	576,845,897	519,703,564
1人平均 件数	117	0.87	134	134	152
1人平均 金額	13,896,163	1.07	12,958,952	11,772,365	10,827,158
金/件	118,440	1.23	96,679	88,162	71,085
合計 会員数	260	1.01	257	259	259
件数	32,556	0.95	34,400	35,925	36,342
金額	3,550,076,981	1.04	3,427,304,772	3,213,305,942	2,984,110,255
1人平均 件数	125	0.93	134	139	140
1人平均 金額	13,654,142	1.02	13,387,909	12,406,587	11,521,661
金/件	109,045	1.09	99,631	89,445	82,112

次 推 移

平成 4 年	平成 3 年	平成 2 年	平成 元年	昭和 63 年
49	52	53	52	52
5,383	5,501	5,216	5,616	6,416
422,075,970	371,932,868	323,423,232	313,081,161	294,569,389
110	106	98	108	123
8,613,795	7,152,555	6,102,325	6,020,792	5,664,796
78,409	67,612	62,006	55,748	45,912
41	41	45	43	45
4,996	5,082	5,492	5,705	5,717
409,243,756	382,330,650	375,765,115	334,914,302	278,077,185
122	124	122	133	127
9,981,555	9,325,138	8,350,336	7,788,705	6,179,493
81,914	75,232	68,420	58,705	48,640
24	24	23	24	23
2,427	2,519	2,302	2,518	2,704
215,473,376	162,296,328	146,077,015	127,531,750	119,654,414
101	105	100	105	118
8,978,057	6,762,347	6,351,175	5,313,823	5,202,366
88,782	64,429	63,457	50,648	44,251
37	35	34	33	35
4,934	4,691	4,963	4,796	4,994
395,530,312	340,561,655	330,106,986	246,163,520	227,126,458
133	134	146	145	143
10,690,008	9,730,333	9,709,029	7,459,501	6,489,413
80,164	72,598	66,513	51,326	45,480
20	20	23	23	22
2,629	2,790	2,593	2,408	2,654
164,914,049	161,370,313	138,618,968	103,890,793	104,682,244
131	140	113	105	121
8,245,702	8,068,516	6,026,912	4,516,991	4,758,284
62,729	57,839	53,459	43,144	39,443
44	40	40	38	39
7,361	6,490	5,873	7,114	7,791
555,783,482	392,820,778	383,039,017	366,346,781	322,548,293
167	162	147	187	200
12,631,443	9,820,519	9,575,975	9,640,705	8,270,469
75,504	60,527	65,220	51,497	41,400
46	48	47	46	45
7,208	6,710	6,640	6,688	7,064
532,000,748	458,217,066	425,313,698	384,905,202	376,135,288
157	140	141	145	157
11,565,234	9,546,189	9,049,228	8,367,504	8,358,562
73,807	68,289	64,053	57,552	53,247
261	260	265	259	261
34,938	33,783	33,079	34,845	37,340
2,695,021,693	2,269,529,658	2,122,344,031	1,876,833,509	1,722,796,271
134	130	125	135	143
10,325,754	8,728,960	8,008,845	7,246,461	6,600,752
77,137	67,180	64,160	53,862	46,138

年 齡 別 ・ 年 間 別 取 扱 金 額 別 ・ 会 員 数 (平 成 8 年 分)

年 齡 別	100万円 未 満	300万円 未 満	600万円 未 満	1,000万円 未 満	1,500万円 未 満	2,000万円 未 満	3,000万円 未 満	3,000万円 以 上	計
75 才 以 上	10人	8人	6人	1人	3人	2人	1人	0人	31人
65 "	8	12	3	7	6	1	2	1	40
55 "	3	6	5	4	4	6	4	5	37
45 "	1	12	9	10	11	15	20	13	91
35 "	3	6	5	5	7	10	9	7	52
35 才 未 満	3	0	2	1	1	1	0	1	9
計 (山 口 会)	28	44	30	28	32	35	36	27	260

支 部 別 ・ 年 間 別 取 扱 金 額 別 ・ 会 員 数 (平 成 8 年 分)

年 間 取 扱 金 額	岩 国 支 部	徳 山 支 部	防 府 支 部	山 口 支 部	萩 支 部	宇 部 支 部	下 関 支 部	計	比 率 %
100万円未満	5	5	1	4	3	5	5	28	10.8
300万円未満	14	8	1	4	4	7	6	44	16.9
600万円未満	10	6	1	3	2	4	4	30	11.5
1,000万円未満	5	5	3	3	2	4	6	28	10.8
1,500万円未満	3	1	4	8	2	7	7	32	12.3
2,000万円未満	4	6	4	4	1	6	10	35	13.5
3,000万円未満	7	5	2	5	3	8	6	36	13.8
3,000万円未満	3	6	3	4	3	3	5	27	10.4
会 員 数	51	42	19	35	20	44	49	260	100

平成8年度 証紙貼付状況結果報告

(調査対象 平成8年4月分・調査 平成8年11月)

	調査上申請		本人申請		司法書士申請		嘱託申請		計		調査結果			嘱託申請		備考
	土地	建物	土地	建物	土地	建物	土地	建物	土地	建物	1 イ証紙貼付 付もれ	2 ロ申請書 個人申請 補正非調査上 表示申請	3 司法書士 表示申請	協会証紙 取付もれ		
石 岡	97	94	1	0	1	0	91	0	190	94	0	1	6	1	0	
柳 井	56	71	1	0	0	0	34	0	91	71	0	0	1	0	0	
久 賀	20	15	0	2	0	0	26	0	46	17	0	0	2	0	0	
徳 山	118	87	0	2	0	0	110	0	228	89	2	0	2	0	0	
光	35	77	0	1	0	0	7	2	42	80	5	0	1	0	1	
新南陽	29	28	0	3	0	0	23	0	52	31	3	0	3	0	0	
防 府	88	110	3	0	0	0	36	0	127	110	0	0	3	0	0	
山 口	146	158	5	4	0	0	85	8	236	170	3	6	9	0	0	
美 祿	39	26	2	0	0	0	118	0	159	26	3	0	2	0	48	
萩	50	39	0	0	0	0	55	5	105	44	0	0	0	0	0	
長 門	40	23	1	0	0	0	131	0	172	23	1	0	1	0	0	
宇 部	197	202	0	2	0	0	44	0	241	204	1	0	0	0	0	
下 関	155	184	1	2	0	0	67	0	223	186	1	0	0	0	0	
豊 田	30	14	3	0	0	0	31	0	64	14	0	0	3	0	0	
豊 北	3	5	3	0	0	0	0	0	6	5	0	0	0	0	0	
合 計	1,103	1,133	20	16	1	0	858	15	1,982	1,164	19	7	33	1	49	
(7年)	945	1,118	6	20	3	0	1,035	14	1,989	1,152	19	5	23	2	-	

調査結果 1. イ. 証紙貼付もれ ロ. 申請書補正状況
 2. 個人申請及び調査上と思われのもの
 3. 司法書士の取扱った表示登記申請

嘱託申請 協会証紙の貼付漏れ

臨時総会開催＝会館建設決定

去る2月27日、山口グランドホテルにおいて会館建設計画承認、及び会館敷地賃貸借契約締結の承認に関して臨時総会が開催されました。すでに会報や、総会資料等でご承知の原案通りが、賛成多数により承認されました。

今後、建設委員会において設計案や資金計画について詳細に吟味していく事となります。

今後ともご協力をよろしくお願いします。

なお、建設委員も次の通り選任されておりますので併せてご紹介しておきます。

委員長	(会長)	乗川良介	委員	(代表監事)	木下勝	委員
副委員長	(副会長)	高田吉雄	委員	(岩国支部)	浦井義明	委員
〃	(副会長)	小嶋愼一郎	委員	(徳山支部)	田中拓朗	委員
〃	(副会長)	瀬口潤二	委員	(防府支部)	大田雄一郎	委員
委員	(総務部長)	八木哲郎	委員	(山口支部)	河村清	委員
〃	(財務部長)	増満増郎	委員	(萩支部)	藤津浩	委員
〃	(業務部調)	西本聡士	委員	(宇部支部)	鶴巻栄一	委員
〃	(広報部長)	高杉千河生	委員	(下間支部)	池本賢治	委員
〃	(公嘱理事長)	水津久太郎	委員			

()内は、現役職

改選となった時は後任者が引継ぐ





平成8年度山口県土地家屋調査士会本部研修会報告

平成8年度山口県土地家屋調査士会本部研修会を2月27日午前10時30分より正午まで吉敷郡小郡町の山口グランドホテルにおいて開催しました。当日は午後会館建設の是非を問う臨時総会開催のため午前中のみ開催となりましたが、広島県土地家屋調査士会顧問弁護士の西垣克己先生を講師に迎え、「調査士業務と責任」という演題で私たちが日常業務を遂行する上での問題点、また紛争に巻き込まれた場合の対処の方法など身近な事例を挙げてのお話を聞きました。

この研修会開催にあたり理事・役員会の席上、問題が起こってからこのような研修会の企画をするのは遅いのではないかという意見がでましたが、業務部としてはさらにもう一度会員の注意を喚起する意味で開催を決定しました。また、山口会も今後いっそう多岐多様複雑化する業務に対し、顧問弁護士の選任も考えていかなければならない時期にきているのではないかと認識を新たにした研修会だったと思われれます。

尚、昨年10月開催予定でした法務省民事局の担当者を講師に迎えての本部研修会が諸事情により開催できなかったことにお詫びを申し述べ研傍会報告に代えます。

(出席会員 83名)



理事会・支部長会開催される

平成9年1月10日山口市の司調会館に於いて会長、副会長、理事、名誉会長、相談役並びに各支部長、監事の出席により合同会議が開催されました。調査士会館の建設等に関する臨時総会を控え活発でしかも内容のある討議がされ、今後の調査士会の発展のいしずえとなる会議でした。



平成8年度第2回支部企画委員と 本部業務部との合同会議 議事録

日時 平成9年2月18日 午後 1:30より

場所 山口県司調会館

出席者

本部役員	瀬口副会長・西本部長
	難波・渡辺 各理事
支部企画委員	岩国 大森・沖広
	徳山 磯村・戸倉
	防府 松田
	山口 福原・大田
	萩 藤津・伊藤
	宇部 町・若林
	下関 打越・米原

以上17名

平成8年度第2回会議を2月18日山口県司調会館において開催した。

当日は乗川会長がやむを得ず欠席の為、瀬口業務担当副会長より、最近の調査士業界の流れについて情報の提供があり、地籍調査の公共用地立会を公嘱協会へ発注する動きがある件や、調査士業務の一般市民への定着化に伴う告発を含む苦情の増加、調査上のモラルを考える問題などについて話があった。

協議事項

(1) 各支部における研修実施状況について

この件については各支部より報告を求め、岩国支部が行った「補助者任せと業無責任」、徳山支部「パソコン教室」、防府支部のタイムリーな「税金問題について」、

宇部・山口・防府支部合同の「山口ヤングフェスタふるさとYリーグ」、萩・下関支部合同の研修ツアーなどの報告があった。

2 不動産表示登記業務取扱要領に基づく調査士業務の実施状況について

この議題については事務取扱要領の統一化についてまず問題提起があり、隣接単位との関係・隣接ブロック協議会との関係について議論を行った。

この要領は基本的に法務局の指導指針であるが次回の登記部門との協議会の議題へ提出することで了承を得た。又、要領の実施に関連して調査士業務の報酬は「高いか・安いかに、杭一本・一本に追加価値を付ける議論、調査士の社会的ステータスを高める意見交換など多岐にわたる話の展開があった。

3 その他

今回この合同会議は調査士会館建設の為の臨時総会前に開催された為、会館建設の説明と総会出席の要請が瀬口担当副会長よりなされた。

又、その他情報交換として、宇部地区で行われた法17条地図作成の状況報告、「本部・支部を通じて研修テーマの統一化の促進を考えたかどうか」という意見交換が行われ、午後4時30時に閉会した。

新人研修会について

業務担当副会長 瀬口 潤 二

平成8年度の新人会員研修会が、別紙の日程で開催されました。

広島会の主催で、中国ブロックの新人の皆様33名が一堂に会しての研修会は、今回が初めてです。山口会からは、私と西本業務部長が、引率と研修会の視察をかねてオブザーバー参加しました。

参加された新入会員の皆様ご苦勞でした。2泊3日をいっぱいに使った研修会の運営については、参加する側もさることながら、準備された広島会の皆様の苦勞はさぞかし大変だったろうと思慮しています。

西本部長とは、山口会で準備すれば、ここは、こうするだろうとか、あんなことは山口会では、まねできないなとか、終始話し合いました。広島会の力量に驚きつつ、山口会でもお手伝いの準備の必要性を痛感しました。

今、この報告をするに際し、参加された会員の業務に対する意識とか会への認識がどのように変化しているかに非常に興味があります。

また、今回のような新入会員の研修会は、山口会としては、初めてのことで、従来の研修会とは、質的に飛躍したもので、非常に貴重な体験であったことに間違いないと確信しています。その意味から、今回の研修会を生かすため参加された新入会員から生の声を聞く場をもうける必要性もあると思います。そのような、機会を作り、先輩会員の心にフィード・バックできないかと考えています。

もとも2名は、新入会員と同じ視線で広島会の業務部長の講義を聴講したり、測量の実務研修にも参加したのですが、新入会員の真剣さ、真面目さ、無心でどん欲な好奇心には、正直なところ驚かされました。われわれ、執行部が、会員から信頼され支持される一つの試金石こそこのようにして会に帰属している新入会員の評価ではないのかと思いました。

平成9年4月23日

平成 8 年度 新入会員研修会日程

広島県土地家屋調査士会

1. 日 時 自 平成 9 年 3 月 20 日 (木) 10 時 00 分から
至 平成 9 年 3 月 22 日 (土) 15 時 35 分まで
2. 場 所 竹原市西野町湯坂 442-2 竹原かんぼ保養センター
3. 日 程

<3月20日> 司 会 檜山業務部副部長

時 間	所要時間	研 修 内 容	担 当 者 数
10 : 00 ~ 10 : 05	5 分	オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	檜山業務部副部長
10 : 05 ~ 10 : 10	5 分	開 会 の 辞	山口副会長
10 : 10 ~ 10 : 15	5 分	会 長 あ い さ つ	中友会長
10 : 15 ~ 13 : 00	165 分	外 業 実 習	
13 : 00 ~ 13 : 45	45 分	昼 食	
13 : 45 ~ 17 : 30	225 分	コンピュータによる座標計算・面積計算	
17 : 30 ~ 18 : 30	60 分	入 浴	
18 : 30 ~ 20 : 30	120 分	懇 親 会	

<3月21日> 司 会 岡田業務部理事

時 間	所要時間	研 修 内 容	担 当 者 数
8 : 30 ~ 10 : 10	100 分	境界確定の課題と問題点等	中友会長
10 : 10 ~ 12 : 00	110 分	不動産表示登記事務取扱要領	長力業務部長
12 : 00 ~ 12 : 45	45 分	昼 食	
12 : 45 ~ 15 : 30	165 分	報酬額、調査・測量	長力業務部長
15 : 30 ~ 16 : 00	30 分	広島県境界確定事務取扱要領	檜山業務部副部長
16 : 00 ~ 17 : 30	90 分	調査士業務と民法とのかかわり	西垣弁護士
17 : 30 ~ 18 : 30	60 分	入 浴	
18 : 30 ~ 20 : 30	120 分	夕 食	

<3月22日> 司 会 平島業務部理事

時 間	所要時間	研 修 内 容	担 当 者 数
8 : 30 ~ 10 : 00	90 分	会の組織と会員の心得(事故例を含む)	森本総務部長
10 : 00 ~ 12 : 00	120 分	調査士の関連業務について	内木業務部理事
12 : 00 ~ 12 : 45	45 分	昼 食	
12 : 45 ~ 13 : 00	15 分	広島県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の説明	下田公職協会理事長
13 : 00 ~ 15 : 00	120 分	境界についてのビデオ鑑賞	(山口会編集)
15 : 00 ~ 15 : 30	30 分	フ リ ー ト ー キ ン グ	
15 : 30 ~ 15 : 35	5 分	閉 会 の 辞	
15 : 35		解 散	

※ 日程については、若干変更がある場合があります。

平成9年度 新入会員研修会研修員名簿

参加者 33名

平成9年3月20～21日
於 竹原簡易保健センター

広島会						
氏名	年齢	住所	経験	実習	部屋番号	
田 秀 才	52	呉市押込1丁目3-1	有	1班	301	
田 昌 宏	61	広島県豊田郡安浦町三津1103-5	無	1班	301	
野 久 義	50	呉市広弁天橋町3-10	有	1班	301	
本 神 郎	30	広島市佐伯郡美鈴が丘西5丁目4-8	有	1班	302	
崎 仁	38	広島県芦品郡新市町下安井25-4	有	2班	302	
二 道 文	27	竹原市吉名町2715-1	有	2班	304	
大 悦 子	41	広島市西区山田新町2丁目3-4	無	2班	303	
村 越 和 也	32	広島市東区牛田中1丁目6-7	無	3班	304	
尾 本 泰 弘	30	福山市西新瀬町1丁目5-26	無	4班	304	
三 近 繁	38	広島市佐伯区屋代1丁目10-11	有	2班	304	
三 浦 謙	50	広島市西区井口明神2丁目7-10	無	4班	305	
三 大 昌	34	東広島市西条町大字上三永1357-2	有	3班	305	
三 寺 貴	40	広島市安芸区中野東2丁目2-35 503号	有	3班	305	
三 橋 文 登	48	同安佐南区西原5丁目15-26シテイコーポル楳岡201	有	3班	305	
藤 田 文 彦	27	福山市曙町3-2-41	有	4班	306	
藤 田 生 名	32	東広島市西条町下三永748	有	4班	306	
計 9 名						
岡山会						
藤 田 幸 秀	39	下関市長府安養寺2-3-11	有	5班	308	
藤 田 未 男	60	光市烏田7-12-10	無	5班	308	
藤 田 龍 夫	32	山口市宮野上2393 15	無	5班	308	
藤 田 敏 博	29	徳山市大字徳山591-8	有	5班	308	
藤 田 英 雅	32	山口市宮野下3055-3	有	6班	308	
藤 田 浩 二	24	下関市横野1-9 43	無	6班	307	
藤 田 哲 俊	45	宇部市北琴芝1丁目8 25-7	無	6班	307	
藤 田 哲 也	33	山口県玖珂郡周東町大字久原672-15	有	6班	307	
藤 田 真 二	38	山口市黄金町3 10	無	6班	307	
計 9 名						
岡山会						
寺 橋 敏 之	56	岡山県赤磐郡山陽団地3丁目6-12	有	7班	306	
田 中 孝 之	41	倉旗市片島町826-1	有	7班	306	
野 祐 治	33	岡山市芳賀東管住宅4-303	有	7班	306	
計 3 名						
鳥取会						
西 山 浩 美	36	倉吉市駄駆経寺区2丁目5	有	8班	210	
花 岡 貞	36	鳥取県西伯郡淀江町大字西原1320	有	8班	210	
杉 本 守 邦	38	鳥取市吉成2丁目12-3	有	8班	210	
岸 本 博 幸	30	鳥取県岩美郡津町宮ノ下1180-1フォーブルKM105	無	8班	210	
計 4 名						
鳥根会						
大 田 藤 隆	30	島根県浜田県田町66	無	7班	307	
計 1 名						



講演会
講演者
講演内容



平成8年度末・平成9年度当初人事異動一覧表

平成9年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名	転 出 先	備 考	後 任 者		備 考
					所 属・職 名	氏 名	
局 長		清田勝男					
次 長		濱田孝					
総務課	総務課長	戸島満義					
	課長補佐	原田敏直	萩支局統括登記官		柳井出張所登記官(所長)	金女邦人	
	庶務係長	有吉清					
	人事係長	林隆康					
登記課	登記調査官	中島正善	会計課施設係長		戸籍係長	玉田秀樹	
	登記専門職	杉原誠					
	係 員	喜島成和					
	係 員	田村京子					
会計課	係 員	佐貫紀恵	登記部門係員		萩支局係員	藤井美鈴	
	会計課長	石田蓋一					
	主計係長	吉武丈治					
	用度係長	竹内基靖	宇部支局登記部門登記官		宇部支局登記官	高杉伸夫	
施設課	施設係長	津森正義	岩国支局登記調査官		総務課登記調査官	中島正善	
	係 員	坂村昌宏					
	係 員	金子忠明					
	係 員	若槻千明	美祿出張所係員		供託課登記専門職	山重基晴	
登記部門	係 員	柳 晋一郎	萩支局係員		豊田出張所登記専門職	大島 穰	
	係 員	安達多恵子					
	首席登記官	品川寿興					
	統括登記官(第1)	金重吉起					
登記部門	統括登記官(第2)	三隅信行	防府支局統括登記官		宇部支局統括登記官	兼安典子	
	統括調整官(第1)	永田一義	登記情報システム管理官		登記部門表示登記専門官(第2)	中島久十	
	統括調整官(第2)	中島久十	登記部門表示登記専門官(第1)		光出張所登記官(所長)	田中 昭	
	登記官	西村昭博	萩支局登記官		新南陽出張所登記官(所長)	有熊和郁	
	登記相談官	中村和彦					
	登記相談官	原澤源一					
	登記専門職	西山義治	広島局新設法人登録登記専門職		岩国支局登記専門職	古川信明	
	登記専門職	野村博之					
	登記専門職	徳田 浩	登記情報システム管理官付		柳井出張所登記専門職	源田俊峰	
	係 員	安村剛治	宇部支局登記部門係員		総務課係員	佐貫紀恵	
	係 員	吉屋仁志					
	係 員	吉村康成					
C	係 員	平石由美子	下関支局登記部門係員		広島局廿日市支局係員	野村博之	
	システム管理	中川洋一	岡山支局登記部門登記官		登記部門表示登記専門官(第1)	永田一義	
	登記調査官	井上 進	防府支局登記調査官		登記部門登記専門職	徳田 浩	
	登記専門職	山田謙治郎	総務課係員				
簿 課	戸籍課長	持田雅敏	広島局廿日市支局長		松江局益田支局長	杉村靖雄	
	戸籍課長	松原純生					
	国簿係長	増山和男					
	係 員	川村泰秀					
供託課	係 員	玉田秀樹	総務課係員		萩支局登記専門職	田中博幸	
	供託課長	宮田和一	人権擁護課長		徳島局総務課人事係長	藤田 進	
	供託係長	猪俣忠弘					

所 属	職 名	氏 名	転 出 先	備 考	後 任 者		備 考
					所 属・職 名	氏 名	
供託課	登記専門職	山重基晴	会計課登記専門職		宇部支局登記専門職	横山孝秀	
訟務部門	上席訟務官	西江 隆					
	上席訟務官	松井重利	松江局訟務部上席訟務官		下関支局登記部統括登記官	齋藤俊英	
	訟 務 官	富永勝盛					
	訟 務 官	瀧村 剛	下関支局総務課民事専門官		下関支局総務課民事専門	藤井隆弘	
人権擁護課	人権擁護課長	永谷 進	広島局訟務部上席訟務官		供託課長	宮田和一	
	人権擁護係長	林 隆康					
	人権相談主任	岡崎輝雄	宇部支局登記部門登記相談官		徳山支局総務係長	池永 貞	
	係 員	川村妙子					
防府支局	支 局 長	安宗厚子					
	総務係長	小野村 悟					
	統括登記官	河合佑一	広島局三次支局統括登記官		登記部門統括登記官	三隅信行	
	登 記 官	藤井京子					
	登記専門職	金沢稔英	宇部支局登記部門登記専門職		宇部支局登記相談官	武吉 勲	
	登記専門職	原田邦夫					
	登記専門職	小野一夫	周東出張所登記専門職		登記情報システム管理官付	井上 進	
	登記専門職	藤村昌代					
	係 員	笹部哲哉					
	係 員	隈井芳枝					
	係 員	佐々木栄子					
徳山支局	支 局 長	佐伯誠人					
	支局長補佐	好中和儀	広島局尾道支局補佐		徳山支局登記官	山縣龍彦	
	総務係長	池永 貞	人権擁護課人権相談主任		宇部支局登記調査官	重田 勉	
	統括登記官	福永 馨	宇部支局登記部門統括登記官		広島局二次支局統括登記官	長野十郎	
	登 記 官	高井静子					
	登 記 官	山縣龍彦	徳山支局長補佐		下関支局登記部門登記官	大田嘉勝	
	登 記 官	山本房夫					
	登記調査官	竹内芳行	新南陽出張所登記調査官		新南陽出張所登記専門職	齋藤春洋	
	登記専門職	高山恵美子	広島局新南陽出張所登記専門職		豊北出張所登記専門職	福田和幸	
	係 員	行武 要					
	係 員	木坂英明					
	係 員	佐内葉子					
	係 員	波田さやか					
	係 員	柏 昌充					
萩支局	支 局 長	西本紀美子					
	総務係長	木村 学					
	統括登記官	松下 衛	広島局民事行政部登記部門統括登記官		総務課課長補佐	原田敏直	
	登 記 官	藤永幸成	下関支局登記部門登記官		登記部門登記官	西村昭博	
	登 記 官	岡藤康通					
	登記調査官	吉村智恵子	岩国支局登記調査官		会計課係員	柳 晋一郎	
	登記調査官	宇野秀穂					
	登記専門職	田中博幸	戸籍課係員		美祿出張所登記専門職	松村 亮	
	係 員	吉野 寿	豊北出張所係員		長門出張所係員	山根忠相	
	係 員	藤井美鈴	総務課係員		新規採用	吉原香織	
	係 員	伊藤美代子					
岩国支局	支 局 長	貞本孝憲					
	支局長補佐	藤井敏法	広島局民事行政部登記部門登記官		岡山局戸籍課戸籍係長	山本康義	
	総務係長	岡村邦子					

手 属	職 名	氏 名	転 出 先	備 考	後 任 者		備 考
					所 属・職 名	氏 名	
岩国支局	統括登記官	藤井照夫					
	訟務官	山本隆	岩国支局登記官				
	登記官	浅原勉	宇部支局登記部門登記官		萩支局登記調査官	吉村智恵子	
	登記調査官	中本正和					
	登記専門職	吉川信明	登記部門登記専門職		会計課施設係長	津盛正義	
	登記専門職	藤木修	久賀出張所登記専門職		下関支局登記部門係員	中原健	
	登記専門職	林明美					
	係員	高崎有恵					
	係員	田畑直美	法務大臣官房秘書課係員		周東出張所登記専門職	前田利隆	
	係員	老田哲也					
係員	徳永稔	柳井出張所係員		久賀出張所登記専門職	原田隆男		
支局長	水津憲治						
総務課長	安田謙						
民事専門官	藤井隆弘	訟務部門訟務官		訟務部門訟務官	瀧村剛		
戸籍係長	藤井茂	下関支局登記部門登記調査官		宇部支局登記調査官	中村公洋		
登記専門職	武田信夫						
係員	藤井裕子	宇部支局登記部門係員		下関支局登記部門係員	鳥取裕子		
統括登記官	斉藤俊英	訟務部門上席訟務官		下関支局登記部門係員	松岡正義		
○記官	河村禮子						
○記官	大田嘉勝	訟務部門訟務官		萩支局登記官	藤永幸成		
○記相談官	林彰夫						
○記専門職	勝部泰和	豊田出張所登記専門職		下関支局総務課戸籍係長	藤井茂		
○記専門職	川口覚						
○記専門職	宮村美代子						
○記専門職	田中義則						
係員	中原健	岩国支局係員		登記部門係員	平石由美子		
係員	隈井隆之						
係員	堀奈々絵						
係員	沼真佐人						
係員	浅海公博						
係員	伊藤一弘						
係員	橋崎佳寿美	長門出張所係員		新規採用	柴佐織		
係員	鳥取裕子	下関支局総務課係員		宇部支局係員	中林恵美子		
支局長	膳夫明						
支局長補佐	松村正博	宇部支局総務課長	課制支局				
総務係長	平井肇						
統括登記官	兼安典子	登記部門登記官(第2)		徳山支局統括登記官	福永馨		
○記官	金光洋一						
○記官	藤田英夫						
○記官	高杉伸夫	会計課用度係長		岩国支局登記官	浅原勉		
○記官	西村和子						
○記相談官	武吉勲	防府支局登記官		人権擁護課人権相談主任	岡崎輝雄		
登記調査官	重田勉	徳山支局総務係長		会計課用度係長	竹内基晴		
登記調査官	中村公洋	下関支局総務課戸籍係長		宇部支局登記専門職	平尾輝彦		
登記専門職	町田圭司						
登記専門職	平尾輝彦	宇部支局総務係員		防府支局登記専門職	金沢稔英		
登記専門職	林嗣朗						
登記専門職	横山孝秀	供託課登記専門職		登記部門係員	安村剛治		

所 属	職 名	氏 名	転 出 先	備 考	後 任 者		備考
					所 属・職 名	氏 名	
字部支局	登記専門職	伊藤 守					
	登記専門職	垣村由美子	字部支局総務課係員				
	係 員	宮本博子					
	係 員	小川智之	字部支局総務課係員				
	係 員	吉岡昌紀					
	係 員	森川信生					
	係 員	小田桐香苗					
美称出張所	登記官(所長)	中川綾子					
	登記専門職	松村 亮	萩支局登記専門職		全計課係員	若槻千明	
新南陽出張所	登記官(所長)	有熊和郁	登記部門登記官		岡山局御津出張所登記官(所長)	矢吹 健	
	登記専門職	斉藤春洋	徳山支局登記専門職		徳山支局登記調査官	竹内芳行	
	係 員	大木華恵					
光出張所	登記官(所長)	田中 昭	登記部門表示登記専門官(第2)		岡山局備前出張所登記官(所長)	野崎 芳夫	
	登 記 官	村田光男					
	登記調査官	高松恵子					
	登記専門職	後藤鋭輝					
長門出張所	係 員	板村智寛					
	登記官(所長)	田中哲治					
	登記調査官	荒瀬哲治					
周東出張所	係 員	山根忠相	萩支局係員		下関支局登記部門係員	橋崎住方美	
	係 員	中村英樹					
	登記官(所長)	斎宮英敏			新南陽出張所登記専門職	斉藤春洋	
柳井出張所	登記専門職	河野恵美子					
	登記専門職	前田利隆	岩国支局登記専門職		防府支局登記専門職	小野 大	
	登記官(所長)	金子邦人	総務課課長補佐		広島局吉田出張所登記官(所長)	上川 昭	
久賀出張所	登 記 官	久富豊廣					
	登記専門職	尾中芳孝					
	登記専門職	原田俊峰	登記部門登記専門職		岩国支局係員	徳永 稔	
	係 員	中菅典子					
久賀出張所	係 員	中井信介					
	登記官(所長)	河村 保					
久賀出張所	登記専門職	原田隆男	岩国支局登記専門職		岩国支局登記専門職	藤木 修	
	係 員	田中裕幸					
豊北出張所	登記官(所長)	岡本 隆					
	登記専門職	福田和幸	徳山支局登記専門職		萩支局係員	吉野 寿	
豊田出張所	登記官(所長)	山本智之					
	登記専門職	大島 穰	会計課係員		下関支局登記部門登記専門職	勝部泰和	
防府支局	登記専門職	岡崎さおり		育児休業			

「不動産表示登記」 無料相談開設場所・時間

日 時	場 所	件 数	相 談 内 容
10月1日(火) 9:00～15:00	「山口地方法務局 岩国支局」 岩国市錦見1丁目16-35	5	
10月1日(火) 9:00～15:00	「山口地方法務局 柳井出張所」 柳井市柳井2564-63	7	
10月29日(印) 9:00～16:00	「ザモール周南」 (星の広場) 下松市中央町2-13	15	土 地 分筆・合筆 地目変更 地積更正等
10月1日(火) 9:00～15:00	「防府地方合同庁舎」 4階共同会議室 防府市寿町6番37号	8	建 物
10月1日(火) 9:00～15:00	「山口県土地家屋調査士会館」 山口市駅通り2丁目9-15	8	新築・増築 滅失・分割 区分等
10月1日(火) 9:00～15:00	「萩地方合同庁舎」 萩市平安古599-3	0	相談員 山口県土地家屋 調査士会会員
10月1日(火) 9:00～15:00	「長門市物産観光センター」 長門市正明市四区	3	
10月1日(火) 9:00～16:00	「宇部地方合同庁舎」 3階法務局会議室 宇部市新町100番33号	13	
10月1日(火) 9:00～16:00	「シーモールパレス」 スクエア広場 下関市竹崎町4丁目4-8	9	
合 計		68件	



新聞掲載記事ファイル

1997年4月1日(水)

『杭を残して、悔いを残さず』
——境界のことなら土地家屋調査士へ——



マーク入りの境界標が
境界を守る
お手伝いをします
(任意のマーク・土地家屋調査士会員)



境界標が
お人々を
守ります
境界線が
あります
わが家の
土地には

4月1日は
表示登記の日

土地分譲登記
分譲登記とは、土地を複数人に分けて譲渡する際に行われる登記です。登記簿には、各権利者の名前と取得した土地の範囲が記載されます。登記は権利の明確化と保護に不可欠です。

不動産登記法
不動産登記法は、不動産の権利関係を公に届出させるための法律です。登記は権利の公示と保護の役割を果たし、取引の安全を確保します。

**土地は杭が守る
杭は所有者が守る**
土地の境界を明確にするために、杭（境界標）が設置されます。これは所有者の責任であり、境界を守ることで紛争を防止し、土地の価値を維持します。

◆建設プレザント◆
土地家屋調査士のサービスは、お客様の安心と満足のために提供されています。最新の測量技術と豊富な経験を活かし、正確な境界調査と登記を行います。お問い合わせください。

本会事務所 東京都中央区

〒100-0001	東京都中央区千代田1-1-1	本会事務所
〒100-0002	東京都中央区千代田2-1-1	第一支部
〒100-0003	東京都中央区千代田3-1-1	第二支部
〒100-0004	東京都中央区千代田4-1-1	第三支部
〒100-0005	東京都中央区千代田5-1-1	第四支部
〒100-0006	東京都中央区千代田6-1-1	第五支部
〒100-0007	東京都中央区千代田7-1-1	第六支部
〒100-0008	東京都中央区千代田8-1-1	第七支部
〒100-0009	東京都中央区千代田9-1-1	第八支部
〒100-0010	東京都中央区千代田10-1-1	第九支部
〒100-0011	東京都中央区千代田11-1-1	第十支部

新聞掲載記事ファイル

6頁 12頁 15頁 16頁

1997年(平成9年)4月11日(金曜日)

業界 きょうあす

土地の分譲や地目の変更、建物の需要などの際、各地の地権者に土地調査員が、国家資格を保持した私たちが土地家屋調査士です。基本的に、土地家屋調査士は、一九七〇年に施行された「土地家屋調査士法」に基づき、国土庁を所管する国土院で、国土院の所長に土地の所有権を認め、地籍調査課長が事業を国家が事業を国家

県土地家屋調査士会

会長 栗川 俊介さん 60

ザ・モール開庁で開かれた登記無料相談所



所有地には境界標を

土地家屋調査士は、境界標は本籍地のあるコンクリート板やみかげ石などを採用するようになり、また、境界標の設置とテサイドがみかげ石の調色に企業や自治体などのマーク、文字を刻んだ標識を添えて、普及を図っています。

国土院は、国土院を所管する国土院で、国土院の所長に土地の所有権を認め、地籍調査課長が事業を国家が事業を国家

土地の分譲や地目の変更、建物の需要などの際、各地の地権者に土地調査員が、国家資格を保持した私たちが土地家屋調査士です。基本的に、土地家屋調査士は、一九七〇年に施行された「土地家屋調査士法」に基づき、国土院で、国土院の所長に土地の所有権を認め、地籍調査課長が事業を国家が事業を国家

を経て、実現しました。国土院は、国土院を所管する国土院で、国土院の所長に土地の所有権を認め、地籍調査課長が事業を国家が事業を国家

国土院は、国土院を所管する国土院で、国土院の所長に土地の所有権を認め、地籍調査課長が事業を国家が事業を国家

支部だより

宇部支部 企画委員

町 紀美幸

去る3月28日(金)15:00~17:00、宇部支部(事務)研修会を法務局宇部支部のある地方合同庁舎会議室において開催した。

今日のテーマは「不動産表示登記事務取扱要領」(以下、「当要領」という)について、本局・表示登記専門官の永田一義氏を講師として招聘して行われた。

平成7年の施行から早くも2年近くを迎えようとしている今日、日々の表示登記実務ではまさに不登法等の法令及び準則、通達などと並び事務取扱いの根拠としての「当要領」が現実機能し、我々調査士の業務に多分に影響を及ぼしているという現状にある。その場の中で、ある意味では「当要領」の示す趣旨の再認識を行なうということ、そして別の意味では「当要領」施行後の現実の我々の実務上での問題点の有無を、あらためて確認する場となれば…等々を目的として、企画・実施された研修会であったと思う。

講師からは、去る平成8年県セミナーパークで行われた官公庁担当者との「当要領」研修会での資料がレジュメとして提供され、それに従って進められた。

特に、第5条(境界標)関係、第7条(耐久的地物)、第8条(地積測量図)、第10条(境界確認書等の添付)関係について、ポイントを絞っての講義説明があった。

土地の調査測量に関する実務を行う上で、従前の取扱いとは内容を改めた部分であっても、我々にとって日々の業務の面からも、関係者との折衝、作業処理の方法などという取扱いに変化を余儀なくされてきた部分でもあることから、この研修を通じ改めてこれらの各事項についての講義を受けたことは、それなりの意義のあることであったと思う。

週末とはいえ、平日の業務時間帯の中での研修会であったにもかかわらず、支部会員並びに補助者の面々27名の出席者があり、講師の好意的・協力的な分かり易い講義と、出席者からの活発な質疑応答が行われ、いささか時間不足の感は否めないものの定刻、盛會裏に閉会した。

尚、この研修会の場を借りて最後に、昨年来の宇部支局管内所在の“地図混乱地域の整理系地図作成”作業に、宇部支部所属の公嘱協会社員が“汗と涙(?)”を代償にして、関わってきたところであるが、これら一連の作業も無事完了し、4月1日付でその成果と共に“地図”が法務局に備え付けられたということの報告と説明が、瀬口潤二会員より併せ行われた。



「**リベラ**」**の**「**リベラ**」
 2000年10月1日発行
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、

「**リベラ**」
 2000年10月1日発行
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、



「**リベラ**」
 2000年10月1日発行
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、

「**リベラ**」
 2000年10月1日発行
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、
 10月号の「リベラ」は、



クラブ紹介

碁は楽か 苦か

防府支部 石田 豊

連邦崩壊後国際情勢は大きく変換しつつあるが、大国ソ連の経済の破綻、自然環境の破壊等が今後周辺諸国にどんな影響を及ぼすのであろうか。

北朝鮮の食糧危機又はアジア後進国の急速な発展が日本に及ぼす影響等今後の日本経済には不安材料が多いように思われる。

最近のテレビで中国のパソコンのソフト技術者の優秀さを放映していたが日本のソフト・製会社の中枢に中国人技術者を採用し、彼等の方が日本技術者よりずっと短時間に新しいソフトを開発する能力があるとのことである。

国内問題に目を向けても住専問題に引きつづいで今後は日産生保の破綻、更なる金融不安と年金に対する不安が生じてきた。

その救済にまた公的資金の導入が云々されている。会社倒産のたびに公的資金の導入で救済するのか今後起きるであろう同様の問題に果して全部に対応できるのか疑問である。

更に考えると経済大国日本の良き時代は已に過去形となりつつある。加えて政治家・官僚の贈収賄民間の使い込みとこの世は悪の華盛り。末世の観がある。

その点我國碁界は汚職も贈収賄もない。一度盤に向うと雑念はすべて忘れて碁一筋に没れる。

碁の座禅を組んだようなものである。無心にならなければならない。とは云っても食事には勝ったり負けたりのうちはまだ楽しめるが負け続けるのはよくない。

碁が修行した？小生でも不愉快である。したがって負けた相手の心を慮って勝ち続けることのないよう心掛けている。

防府の囲碁大会が3月9日に開催され好天のなか雑念忘却の一日を過ごした。

今年は萩の三好さんが優勝、防府の加藤さんが準優勝でした。

特に萩の三好さんは堂々の五連勝、対戦相手に恵まれたか、迷いが切れ無心になれたお見事でした。

ふよし野に 萩と桜の狂い咲き 碁苦楽 トンボ

第1回中国ブロック親睦釣り大会のお知らせ (親睦旅行)

幹事 小嶋慎一郎(釣り) 高田 吉雄(旅行)
TEL 0839-72-5591 TEL 0832 23-6188
FAX 0839-72-8336 FAX 0832-34-1488

日ごとに暖かさも増し釣りには絶好の季節となりました。
さて、標題の釣り大会が下記により開催されることになりました。
参加希望の方は、幹事又は、事務局までお申し込み下さい。

記

日 時 平成9年6月6日～6月8日
場 所 島根県隠岐島、島後西郷港周辺
宿泊場所 島根県隠岐郡西郷町大字東町字字屋の下16番地
民宿 石塚 TEL 08512-2-2135
(約40名程度で取り敢えず予約済みです。)
費 用 約30,000～35,000円の予定
(宿泊費、賞品代、諸雑費、懇親会費用として
但し、初日を磯泊まりされる人はそれだけ安くなる)
(交通費、釣り船代、渡船代は含んでいない)
日 程 6月6日 8:00 島根県八束郡美保関町七類港 集合
9:00 七類 出港
11:20 島後、西郷港着の後、船にて各釣場へ
夜は民宿泊、磯泊は各自の希望による

※ 尚、旅行クラブは、同日程で、島前・島後巡りを予定しています。
詳細は高田まで御連絡下さい。

事務局だより

会員異動状況

1. 会員入脱会状況

氏名	入脱会年月日	事務所	TEL
野坂 政一	H8.12.26脱会		
白根 圭子	H8.12.27廃業		
廣 友勝巳	H9.1.31脱会		
井上 哲也	H9.2.3入会	〒740 岩国市昭和町3丁目8-1	0827 22-0205
三村 孝人	H9.2.13廃業		
岡 真二	H9.3.10入会	〒753 山口市黄金町3-10	0839 33-0061
久野 操	H9.3.20廃業		
梶 一郎	H9.3.31廃業		

2. 事務所住所変更

氏名	年月日	変更事項	TEL
和田 祐二	H8.10.20	〒753 山口市大字上宇野令827の5 (事務所)	0839 22-7202
曾根 章文	H9.2.1	〒743 光市光井9丁目19-18 (事務所)	0833 72-8414
戸倉 茂雄	H9.2.18	〒745 徳山市梅園町2-31 (事務所)	0834 21-4375
澤田 誠	H9.3.1	〒754-12 吉敷郡阿知須町4248の1 (事務所)	0836 65-2040

会 務 報 告

9. 1. 13日 (月)	} 全国会長会議	連 合 会
14日 (火)		
20日 (月)	} 境界鑑定研究講座	連 合 会
22日 (水)		
2. 4日 (火)	正副会長・部長会議	会 館
13日 (木)	新入会員交付式	会 館
15日 (土)	研究室会議	会 館
18日 (火)	業務部会	会 館
18日 (火)	支部企画委員と本部業務部との合同会議	会 館
20日 (木)	中プロ管内業務・広報担当者会議	岡 山 市
21日 (金)	中国ブロック協議会会長会議	岡 山 市
25日 (火)	正副会長・部長会議	会 館
27日 (木)	本部研修会	小 郡 町
27日 (木)	臨時総会	小 郡 町
3. 6日 (木)	役員推薦委員会	小 会 館
7日 (金)	中公連と中プロとの協議会	岡 山 市
9日 (日)	親睦囲碁大会	会 館
11日 (火)	広報部会	会 館
11日 (火)	正副会長・部長会議	会 館
20日 (木)	} 新入会員研修会	竹 原 市
22日 (水)		
24日 (火)	正副会長・部長会議・交付式	会 館
4. 1日 (火)	表示登記の日 無料相談開設(3.30徳山支部)	県 下 9 会 場
4日 (金)	役員推せん委員会	会 館
10日 (木)	第1回建設委員会	会 館
15日 (火)	正副部長会	会 館
15日 (火)	決算監査会・総務・財務部会	会 館
16日 (水)	法・司・調三者協議会	会 館
18日 (金)	財務部会	会 館
19日 (土)	広報部会	小 郡 町
22日 (火)	司調正副会長会議	小 会 館
24日 (木)	理事・支部長会議	会 館
26日 (土)	} 岩国支部総会	大 島 郡 東 和 町
27日 (日)		
30日 (水)	弁護士会総会	山 口 市
30日 (水)	広報部会	会 館

編集後記

会報山口も我々五人での編集は今回が最後となりました。

正直言って、編集会議とはいっても、写真は少ないし、校正も満足にできておらず、お断りした原稿、寄せられた原稿をただ積み重ねるだけの会報で終わってしまいました。読者の一翼を担うべきナビゲーター的な広報誌には程遠く、大いに反省しています。

幸か不幸かは、皆様の判断にお任せするとしてあと一期はこのお役目から逃れそうにありません。乞うご期待!!

今回で広報担当からはなれる理事よりさらにもう一言

新しいもので本部長になり、広報部を担当してもう2年が経つ。

- 広報誌の発行回数が少ない!
- 金を出してまで新聞掲載をする必要はない!
- インターネットになっている、もう少し変わった広報活動ができないのか!
-!

いろいろな意見を聞きながらなんとか無事に過ごせたのも、ひとえに私の頑張りによるところでもあります(冗談、冗談)。

正直なところ、副会長、部長、先輩理事についていくだけの2年でしたが、今後はこの経験を私個人のためにいかしていこうと思っています。

ありがとうございました。



発行 山口県土地家屋調査士会
山口市駅通り2丁目9番15号
電話 (0839) 22-5975
FAX (0839) 25-8552
振替 01590-5-11085
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 乗川 良介
広報担当副会長 小嶋慎一郎
広報部長 高杉千河生
部 員 阿部 次男
" 河内 正幸
" 上村 栄
印刷所 西京コーポレーション
山口市中央5丁目15番11号
電話 (0839) 24-3130

ロゴマーク募集

広報部

中国ブロック協議会広報担当者部会では法制定50周年に向けて従来の徽章とは別に新しいロゴマークを会員から募集することにより作成、使用することになりました。

応募要領は下記の通りです。奮ってご応募下さい。



INSPECTION and REGISTRATION
by LEGAL MINDS

日本土地家屋調査士会連合会
中国ブロック協議会



考案例 山口会広報部

応募要領

1. 作成要領 上記図面を参考にロゴマークの図案、図案説明、呼称、その他気付き
2. 応募用紙 適宜
3. 応募資格 会員、補助者、これらの家族
4. 締め切り 平成9年6月末
5. 応募先 調査士会事務局（広報部）

審査員

中プロ役員、デザイン事務所等専門家、その他

審査発表

中国プロ広報部会で審査し、9月11日の中プロ総会で掲示発表します。

ロゴとしての採用

中国ブロック各会が使用する封筒、文書、会報、各種キャンペーン看板等、なお使用開始時期、使用期間は審査発表後開催される役員会で決定されます。

その他

広報部室も応募する予定です。斬新なデザインを期待します。